

読者ひろば

わたしを語る

「キワニスクラブ」という組織を知ったのは、平成15(2003)年のことです。雑誌で「子ども最優先活動」という文字を見つけ、興味を沸きました。どんな団体か知りたくて知人に尋ねてみると、ライオンズクラブやロータリークラブと並ぶ国際的な奉仕団体の一つで、子どもたちのための活動に力を入れていることを教えてくれました。

その時知ったのが「モノより心を重んじる」「自分がされてうれしいことを他人にもする」というキワニス精神です。当たり前のことですが、新鮮さを感じました。今の自分にとって大切なことだと感じ、早速、入会の手続きをしました。熊本キワニスクラブの例会に参加してみると、県内各界を代表する顔触れで、最初は戸惑いました。しかし、みなさん温かく受け入れてくださり、例会の楽し

コッコファーム会長

松岡 義博

③〇

厳しき道、されど我が道

キワニス菊池クラブを開設



熊本キワニスサテライト菊池クラブの面々(後列右から4番目が私)

さが話題になりました。私は「地域の活性化の役に立てれば」と思い、その場で菊池での設立に手を上げました。

平成24年7

今、菊池クラブで熱心に取り組んでいるのが「キワニス・ドール(人形)」の制作です。白地の布に綿を詰めた人形を手作りしています。今回は、地震で被災した熊本の子どもたちに贈る予定です。トラウマ(心的外傷)を負った小さな心を癒やすお手伝いができれば、と思っています。

ど多様なメンバーが仕事の近況や将来の夢などを発表します。思いを言葉にすることで、実行しようという決意につながるような気がします。

い雰囲気病みつきになり、参加しています。普段なかなか話す機会のない方々との出会いを本当にありがたく思っています。

入会からしばらくたったころ、阿蘇サテライトクラブが発足しました。その設立総会の席で、地方におけるサテライトクラブの大切

がたく思っています。

ました。

がたく思っています。

当クラブの名物は近況報告大会です。経営者から弁護士、牧場主、専業農家な

月、22人が参加して熊本キワニスサテライト菊池クラブが誕生しました。設立総会では、親クラブである熊本キワニスクラブの永島賢治会長から祝辞をいただきました。

菊池クラブの会員は33人に増え、野外例会や忘年会も盛り上がり、毎回、8割以上のメンバーが参加してくれています。平成30年には国際キワニス日本地区大会が熊本で開かれる予定です。全国のキワニアンたちとの再会が楽しみです。